

# 論点メモ

(住民がつくるおしゃれなまち研究会)

平成 30 年 3 月

## 背景 大都市近郊の都市におけるまちづくりのあり方について

- ・ 量から質への充実を求める流れ
- ・ 住・商・遊のあるまちへ
- ・ 分かりやすい資源の少ない都市

## 論点1 おしゃれなまちづくり

- ・ 戸田市流「おしゃれ」の定義
  - おしゃれの具体的要素となる地域資源
  - 地域資源が魅力的に感じられる場所づくり
- ・ 魅力ある都市空間の創出
  - つながりを持たせた空間デザイン
  - 戸田市の強みを生かした空間づくり
- ・ 住み続けたいと感じるまちづくり
  - 将来の土地利用を見据えた景観計画の改定
  - 都市と関わりたいと考えているファミリー層の定住
  - 母親世代が働ける環境の構築
  - 休日に親子で参加できるイベント
  - 大人も子どもも「遊ぶ」ことができるまちづくり
- ・ 行ってみたいと感じる景観づくり
  - 市内3駅周辺の景観イメージの確立
  - 戸田市の地域的な景観の特徴に合わせたスポットづくり
- ・ 市の特色を生かしたまちづくりの検討
  - 彩湖・道満グリーンパークや笹目川（水辺）
  - ボートの聖地としての戸田漕艇場

→平坦な地形や荒川沿いを生かしたサイクリング

→空き倉庫のリノベーション

→三軒協定発祥の地

→花火大会やマラソン大会などのイベント

- ・ 民間企業との連携

## 論点2 シビックプライドの醸成

- ・ 都市環境の整備によるイメージ形成
- ・ 市民がまちに愛着を持つための手法
  - まちを使いこなす市民を育てる
  - 自分自身に関係があると思わせる仕掛けづくり
  - コミュニケーション戦略の展開
- ・ 都市の情報発信力強化
  - みんなで共有する展開や見せ方の重要性

## 論点3 まちづくりにおける住民参加

- ・ まちづくりにおける住民参加・合意形成の意義
- ・ 多様な主体間の利害調整のあり方
  - それぞれの主体に即した役割分担
- ・ 住民主体のまちづくりに係るリソースの確保策
  - 活動の中心となるキーマンや新しい人材の発見・育成
  - 住民と行政の仲立ちを行う中間支援組織
- ・ 住民主体のまちづくりにおける行政の役割
  - 自然発生的に住民が参加する仕組み・仕掛けづくり
  - おしゃれの発信者・生産者のサポート